

キラリと光る 飛島キラ通信

第7回

配置・平面検討案の アンケート実施

今回は2つのテーマについて話し合いました。
1つ目は児童支援施設について、2つ目は配置・平面案についてでした。

1つ目の児童支援施設は現在村がどのように考えているか、民生部長よりお話がありました。位置、規模、必要室等についてと、今後説明会を実施し、アンケートを基に運用方法を決めていくという内容でした。

2つ目の配置・平面案については、これまでのワークショップを基に、石本建築事務所より4案の提案がありました。それぞれの案がどんな特徴があるか説明を受け、様々な指標から各案を評価し、最後に、指標の重み付けをするというアンケートも実施しました。

これを集計し、アンケートの内容と児童支援施設の要望を反映した新しい案を次回提案してもらいます。いよいよ配置・平面が決まりそうです。

10月末の基本設計のまとめに向けて、あともう一ふん張りです。委員長も毎回おっしゃってますが、この案でよかったといえるよう、たくさんの意見を出して、みんなが納得できるものをつくりましょう。よろしくお祈りします。



第7回ワークショップ内容

2007年10月10日 19:00~21:20

参加人数：24人 場所：中央公民館2階学習室

19:00 教育委員長挨拶

19:05 前回のおさらい

キラリ通信の内容確認

19:10 児童支援施設について

民生部長より学童保育の案について説明

体育館の1階に80~100人を対象とする施設。

人数に一時保育も見込んでいます。

児童の部屋は約150㎡で児童に目が届くよう部屋を区切らない。事務室60㎡、倉庫15㎡×3部屋、

その他玄関、ホール、WC、手洗、更衣室等。

低学年運動場を利用することを想定している。

説明会、アンケートの実施により運営を考える。

送迎の駐車スペース必要。増築スペースをピロティに見込む。

意見・学童と他の子どもと一緒に遊べるか

今後運用方法を考える

・建物が決まってから説明会があってよいか

運用の話がメインになるので問題ない

・低学年運動場を利用する際の管理区分は

指導員がついて管理する。

19:35 配置・平面検討案について

石本建築事務所よりA1~D1案の説明があり、各案のアンケートを実施。次回までにアンケートを集計し、案を絞り込む。次回選ばれた案をマッシュアップしたものを提示。

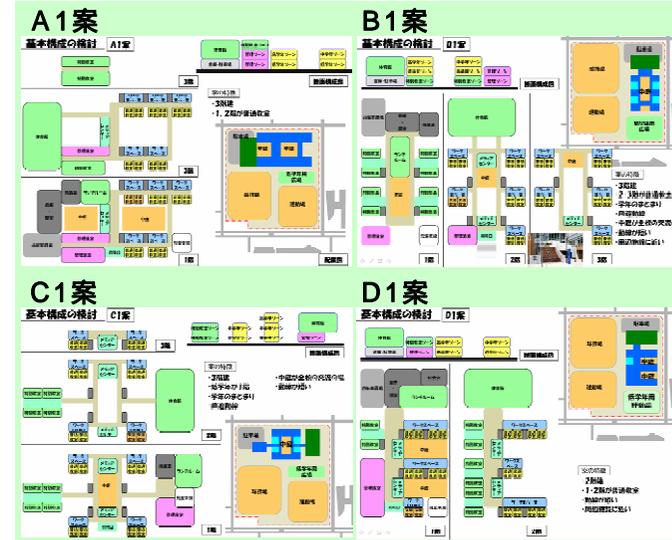
意見・生徒が使いやすい特別教室の位置という指標が抜けている。

・ワークスペースの北側に通路を設けるバリエーションは考えられないか。

・2+2+3+2を重視するという指標が抜けている。

・各案でイニシャルコスト、ランニングコストに違いがないか

同じと考える



アンケート内容

評価項目	これまでの主要な意見	ワークショップアンケート							
		A1案	A1案	B1案	B1案	C1案	C1案	D1案	D1案
低学年教室の配置	低学年教室が少ない 2階建てが良い	3	3	3	3	3	3	3	3
特別教室の配置	1階が良い 2階が良い	1	1	2	2	1	1	1	1
学童のまとまり	学童とその他の児童が 必要十分なまとまり			1	1	1	1	1	1
運動場の配置	運動場が良い			1	1	1	1	1	1
中庭の配置	中庭とまとまり 全体の交流の場			1	1	1	1	1	1
廊下の長さ	コンパクトが良い			1	1	1	1	1	1
教室の採光・通風	明るく風通しが良い教室			1	1	1	1	1	1
公共施設との連携	施設を利用する			1	1	1	1	1	1
児童支援施設の連携	連携が必要はない			1	1	1	1	1	1
水廻り	2階に水廻りがある			1	1	1	1	1	1
防犯対策	防犯対策が必要			1	1	1	1	1	1
その他									

次回ワークショップ：10月17日19:00~

